



ID: 1428

科目名	社会福祉援助技術現場実習 I 【26年度生用】			コード			
英語表記	Social work practicum I						
担当教員名	梅木 幹司・横山 順一・福田 みのり			年度	平成26年度		
基準年次	3年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態	実習	授業形式		履修形態	選択		
授業概要							
社会福祉援助技術現場実習 I では、利用者理解を目的として実習を行う。実習担当教員と実習施設における実習指導者と十分に議論を重ね、体験・振り返り・日々の目標設定等を実行して、社会福祉士の援助技術について実践的に学習する。							
到達目標							
・実習施設の目的・役割・理念等について理解する。・利用者理解とその需要を把握することができる。・利用者との関係形成やコミュニケーション等の技術を習得する。・実習施設における多職種連携の意義を理解することができる。							
授業計画							
第1回	実習指導者による指導を受け、相談援助実習指導担当教員による巡回指導を受ける。						
第2回	「社会福祉援助技術現場実習 I」では、利用者理解を中心に以下のことについて学習する。						
第3回	・利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや						
第4回	人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成						
第5回	・利用者理解とその需要把握						
第6回	・利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成						
第7回	・多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実践						
第8回	・社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の						
第9回	一員としての役割と責任への理解						
第10回							
第11回							
第12回							
第13回							
第14回							
第15回							
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
評価の配分は、実習評価表、自己評価表、実習日誌、実習計画書、実習のまとめ、実習報告書から総合的に評価する。実習中の態度次第では、実習を中断し評価の対象とはしない。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
授業外学習			テキスト、教材				
			「ソーシャルワークハンドブック」山口福祉文化大学「社会福祉士相談援助実習」中央法規出版				
参考書			受講生へのメッセージ				
社会福祉援助技術現場実習指導 I の授業において適宜紹介する。必要がある場合は、個別指導時に紹介する。			社会福祉士指定科目。国家試験受験希望者は必修。実習中は、健康に十分に留意し、積極的な学習態度で臨むこと。実習担当教員とは、常に連携をとること。実習中は無断欠席は絶対に許されない。				
キーワード							
利用者理解 職種理解 コミュニケーション 多職種連携 ニーズキャッチ							